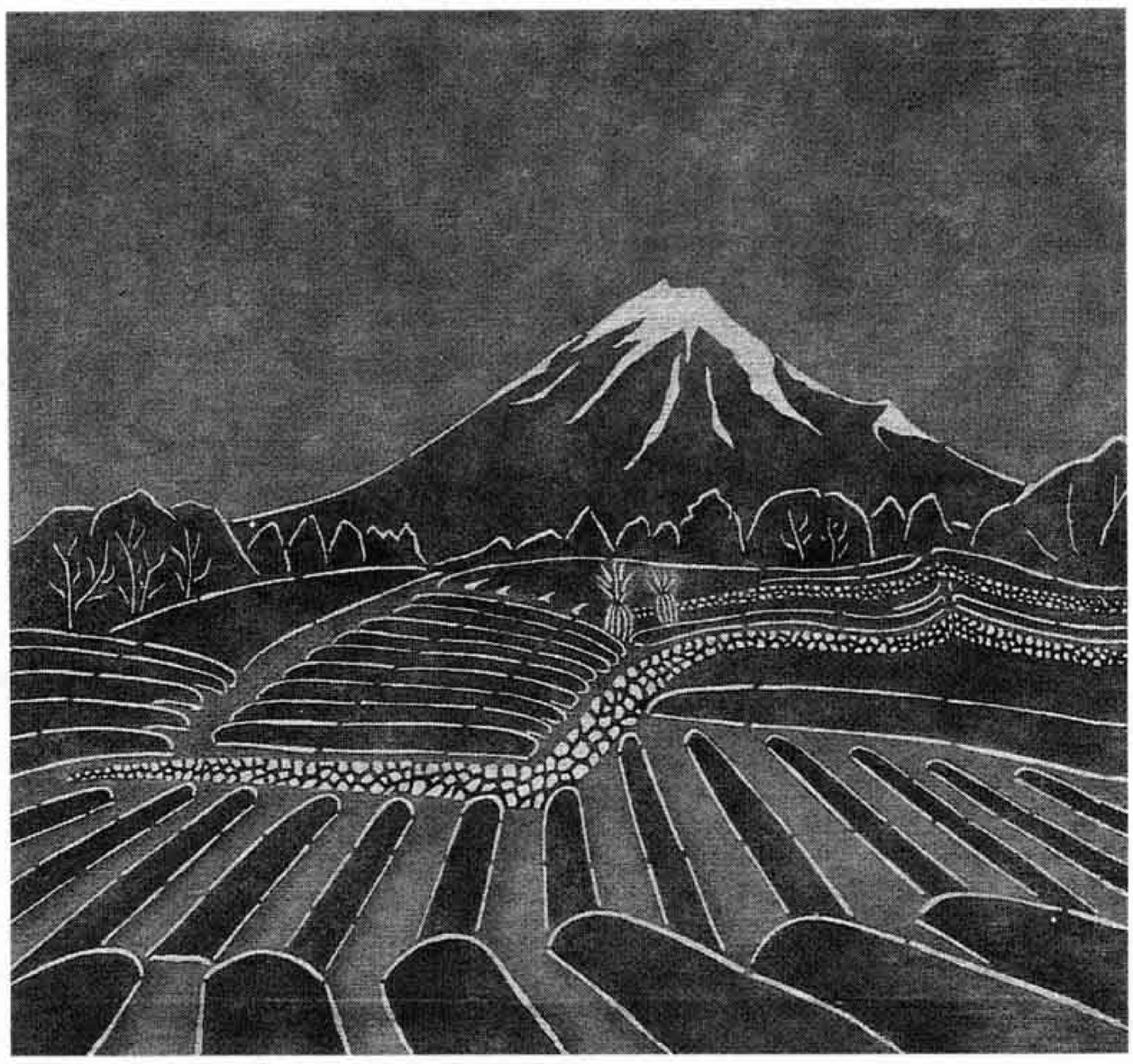

わが心のふるさと富士山 11

型染めと文
斎藤真砂子さん
大渕八四―九

八十八夜

私は富士山を背にして、はるか駿河湾、伊豆の山々が見え、富士の市街がパノラマのように見渡せる高台に住んでいます。四季折々家の近くを散歩しているとき、こんなすばらしいところに暮らすことができて本当に幸せだなあと思います。

初夏には、広い運動公園の向こうに茶畑の畝が連なり、生き生きとした緑の新芽がまばゆいばかりで、早く摘んでおいしいお茶にして欲しいと呼びかけているかのようです。

茶畑と富士山は、何と言っても富士市の代表的な風景でしょう。

こちら編集室

彼と出会ったのは4年前。指が太くて、人並み外れてよく食べる人。そして、「体が大きい分、なんだか態度もでかいじゃん」。

そんな印象だけだったのに、以外にきれい好きだったり、優しい心遣いもあったりなんかして。

最近はあの笠智衆さんのように「あー、うー」でも、大体の感じがつかめるようになってきた。今、「人の度量をはかるのは、常に向き合う者の心の内にある」を実感。

その彼が、3月31日編集室を去った。新しい職場に幸あれ。

春うららら。桜が咲いて、やわらかな若葉も芽を出し始めました。まさに若葉のような小学一年生は、ことし市内で2,730人。元気に通学しています。

車を運転する皆さんにお願い！黄色の帽子をかぶった子供たちは一年生。ぜひ、安全運転をお願いします。

広報ふじは環境にやさしい再生紙を使っています

発　行・富士市役所　富士市永田町1丁目100番地　☎51－0123　人　口　229,872人　男　114,699人　女　115,173人
編　集・総務部広報広聴課　世帯数　70,734世帯　（3月1日現在）